

リチウムイオン二次電池 (LIB) におけるリチウム・レアメタルなどの資源回収技術の取り組みを紹介！

1名分料金で
2人目無料

リチウムイオン電池における 資源回収の可能性と展望【LIVE配信】

- ◆日時: 2026年4月30日(木) 13:00~16:30
- ◆会場: 自宅や職場など世界中どこでも受講可
- ◆聴講料: 1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

- ・1名でお申込みされた場合、1名につき46,200円(税込)
- ・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で49,500円(税込))

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

＜第1部＞(13:00~14:00) LiSMICによる LIBリサイクル資源循環と 超高純度リチウム安定供給への挑戦	＜第2部＞(14:15~15:15) 正極活物質の種類に応じた リチウム回収プロセス開発 : 炭素還元法と固体酸化剤法	＜第3部＞(15:30~16:30) 水熱有機酸浸出を用いた 廃棄リチウムイオン電池からの レアメタル回収技術の開発
LiSTie(株) 代表取締役 星野 毅 氏	(国研)産業技術総合研究所 ゼロエミッション国際共同研究センター 主任研究員 粕谷 亮 氏	東北大学大学院工学研究科 附属超臨界溶媒工学研究センター 教授 渡邊 賢 氏
【趣旨】 本講演では、(国研)量子科学技術研究開発機構(QST)が発案した超高純度リチウム回収技術であるイオン伝導体リチウム分離法(LiSMIC)を紹介。 LiSMICの社会実装を通じた塩湖からのリチウムの安定供給と、使用済LIBリサイクルによる資源循環への貢献だけでなく、究極的には海水からのリチウム回収によるフュージョンエネルギー(核融合)用リチウムの国内調達の可能性についても考察します。	【趣旨】 欧州では規制強化により、リチウムイオン二次電池(LIB)に使用されるリチウム、コバルト、ニッケル等の水平リサイクル、いわゆるバッテリーtoバッテリーを義務付けようとしています。一方、製錬を基盤とする従来の技術では、特にリチウムの回収が困難という問題があります。そこで、私たちは乾式法の一つである炭素還元法と湿式法を組み合わせたリチウム等の回収プロセスを提案しています。本講演では炭素還元法、および固体酸化剤法を中心に、これまで得られた成果を紹介。 【プログラム】 1. LIBリサイクルを取り巻く状況 2. 炭素還元法による正極活物質からのLi等回収 3. 廃LIBからのLi等回収に向けた取り組み 4. 固体酸化剤法による 鉄系正極活物質からのLi等回収	【趣旨】 リチウムイオン電池正極材のリサイクルにおいて、乾式製錬、湿式製錬、直接再利用の3つの方法が提案されている。いずれも、酸浸出を用いた金属回収と、それにより回収される水溶液を出発原料とする金属単離プロセスとの連結が欠かせない。 本講演では、水熱プロセスの優位性を説明すると共に、水熱酸浸出とそれに関連した金属単離技術に関連して実施した検討事例と地域のLIB資源を循環利用するための共生圏構築の試みを紹介。 【プログラム】 1. LIBリサイクル (ア)3つのリサイクル (イ)湿式精錬の優位性と課題 2. 水熱技術の概要 3. 水熱酸浸出プロセスのメカニズム解明と連続化検討酸浸出 4. 金属単離手法の検討事例 5. 水熱炭化を起点とした循環負極合成 6. LIB資源循環のための 資源共生圏構築に関する検討事例 7. まとめ

※【趣旨】【プログラム】は一部内容を省略して掲載しております。詳細はHPでご確認ください。

『リチウムイオン電池資源回収【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住 所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐Eメール ☐郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしていませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>